

突発重大交通事故対応訓練

9月29日(火)南部警察署、峡南消防本部、南部町、安協など関係団体約100人が参加し、秋の交通安全運動の一環として、5月に発生した大型車と観光バスの衝突事故を教訓に、合同の救助訓練を実施しました。

訓練は、観光バスと乗用車が衝突し約20人が負傷した想定で行われ、現場指揮本部の設置、負傷者の救出等を実施し、町のバスで負傷者の搬送、山梨県のドクターヘリでの重傷者搬送訓練も行われました。

また、医療センターの市川医師・看護師も参加し負傷者のトリアージ・応急手当、救急隊との連携も確認しました。

講評では、峡南消防本部中部消防署長が「今回の訓練で課題も見えてきた。今後に生かしていきたい」と話していました。交通事故防止対策はもちろん、交通事故発生時についても人命救助に迅速な対応が求められることを改めて実感しました。

※町では多数傷病者発生時(概ね20人以上、軽傷者の搬送に町のバスを貸し出す覚書を峡南広域行政組合消防本部と締結しています。



ドクターヘリでの搬送



現場指揮本部設置訓練



救出訓練



トリアージ訓練



秋の全国交通安全運動

9月21日(月)から9月30日(火)まで、秋の全国交通安全運動が行われました。

18日(金)には内船駅前で黄色い羽根の配布、29日(火)は道の駅とみざわ前で街頭指導所を開設し、標語の入った南部茶・ペットボトルを渡し、運転している皆さんに安全運転を呼びかけました。



睦合・栄保育園児による鼓笛隊



内船駅・道の駅前で交通安全を呼びかけました

また、この取り組みの一環として9月25日(金)に睦合・栄保育園児による交通安全鼓笛演奏が行なわれ、交通事故防止を呼び掛けました。

運動期間は終わりましたが、悲惨な交通事故を無くすために、運転するひとりひとりが子ども達や社会すべての人のために、安全運転に心がけるようお願い致します。